

性感染症に関する豆知識（おまけ）⑤

妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について
「おまけ」としてお届けします。



成人T細胞白血病(ATL)

- 原因はヒトT細胞白血病ウイルス（HTLV-1）です。全国に100万人以上のウイルスキャリアがいます。
- 数十年後に成人T細胞白血病になる場合があり、発症率はキャリアの5%で発症数は年間1000人です。
- 感染者の20%は性行為によって、60%は母乳によるものです。母乳をやめる完全人工栄養が奨められています。

伝染性紅斑、リンゴ病

- 原因はヒトパルボウイルスB19（PVB19）です。子供の頬が赤くなるリンゴ病を起こします。4～5年周期で流行します。かかると一生免疫ができます。
- 妊婦の抗体保有率は50%以下。妊婦が初感染すると約20%で母子感染し、4%で胎児の貧血や水腫が生じるが多くは重症になりません。

